

6 ポリオレフィン系フィルム被覆下でのスプレーギクとオリエンタル系ユリの栽培

ねらいと成果

使用済みプラスチックの廃棄量を削減するため、園芸用プラスチック資材においても対応が求められている。被覆資材においては、これまで塩化ビニルフィルムが使用されてきたが、焼却処理時にダイオキシン類が発生するおそれがある。そこで、非塩化ビニル系資材で、従来のフィルムより長期展張が可能なポリオレフィン系フィルム（以下POフィルム）への転換を進めるにあたり、スプレーギクとオリエンタル系ユリの切り花栽培への影響を検討した。

その結果、スプレーギクではPOフィルム被覆の影響は品種により若干の差が見られたが、その差に一定の傾向はなく、生育と切り花品質に大きく影響しなかった。しかし、柳芽の発生しやすい品種では、発生を助長する傾向が伺われた。オリエンタル系ユリでは、フィルムの違いによる平均開花日や切り花品質への影響はみられず、慣行の塩化ビニルフィルム被覆と同等の切り花栽培が可能であった。

内容

スプレーギク：平均開花日には被覆フィルムの影響はなく、供試した4品種ともほぼ同日に開花した。草丈は4品種中2品種は同じ値を示したが、「秋の気配」と「ジェム」はPOフィルムで低くなった。柳芽発生割合は「秋の気配」と「ジェム」でPOフ

表1 POフィルム被覆がスプレーギクの生育に及ぼす影響

品種	被覆フィルム	平均開花日 (月. 日)	草丈 (cm)	柳芽発生割合 (%)
秋の気配	PO	11. 5	112.5	20.0
	塩ビ	11. 6	117.5	15.0
ジェム	PO	11. 7	120.0	65.0
	塩ビ	11. 6	123.5	50.0
ピンキー	PO	11.14	145.0	0.0
	塩ビ	11.14	145.0	0.0
ハーレクイン	PO	11.16	139.0	0.0
	塩ビ	11.16	139.0	0.0

ィルムが高くなった（表1）。

切り花90cm当たりの重量は、品種間で差が見られ、「秋の気配」はPOフィルムで、「ハーレクイン」は塩化ビニルフィルムで重くなった。切り花節数に被覆フィルムの影響はなかったが、着蕾節数は「秋の気配」でPOフィルムが多くなった。花色に被覆フィルムの影響は見られなかった（表2）。

オリエンタル系ユリ：平均開花日は、フィルムの違いによる差はなかった。切り花重はPOフィルムで若干重かったが、切り花長や節数及び花数についてはフィルムによる差はみられなかった。葉焼け症状については、いずれのフィルムでも多発し、株当たりの発生数や症状に差がなかった。花色はフィルムの種類による差はなかった（表3）。

普及上の注意事項

POフィルムは伸縮が少なく、バンドレス固定ができる。また、長期使用のため、フィルムの特性に応じた防曇性や流滴性維持の処理を行う。

岩井 豊通（中央農技・園芸部）

表2 POフィルム被覆がスプレーギクの切り花品質に及ぼす影響

品種	被覆フィルム	切花重 ¹ (g)	節数 ¹ (節)	着蕾節数	花色 ² (JHS)
秋の気配	PO	99.4	26.7	8.3	8903
	塩ビ	90.0	25.3	7.3	8903
ジェム	PO	78.0	20.4	5.8	8904
	塩ビ	77.5	20.0	6.3	8904
ピンキー	PO	78.7	20.6	8.7	8904
	塩ビ	75.7	21.9	8.7	8904
ハーレクイン	PO	80.4	21.0	11.9	9507, 9501
	塩ビ	88.8	21.0	11.5	9507, 9501

¹ 切り花長90cm当たりの値

² 日本園芸植物標準色票（JHS）による

表3 被覆資材がオリエンタル系ユリ「ミサキ」の切り花品質に及ぼす影響

被覆資材	開花日 月 日	切花長 (cm)	重さ (g)	節数 (節)	花数	株当たり葉焼け葉数				花色 (JHS)	奇形花発生数
						波打	かすり	褐変	計		
PO	7.25	67	88	37	2.8	1.6	2.0	6.7	10.2	9202	0.8
塩ビ	7.25	66	85	37	2.8	2.0	1.4	6.5	9.8	9202	0.7